



第10号
平成18年4月7日

みなさまこんにちは。札幌市観光企画課の武田です。札幌はつい先日桜の開花予想が発表されました。札幌の開花予想は5月6日だそうです。札幌は春までもう少しですね。今月はそんなまだ肌寒い中でも楽しめる特集です。

今月のトピックス

- 1 札幌ドームの楽しみ方
- 2 札幌旬の食べ物情報Part4～さっぽろ・いちごタルト
- 3 ようこそさっぽろ4月の特集

1 札幌ドームの楽しみ方

本州では各地で“桜”が見頃を向かえ、本格的に春が到来といったところかと思いますが、こちら札幌は、ところどころに雪が残り、気温がまだマイナスになるなど、陽気に誘われるような花あふれる春の到来までは、まだもう少しかかりそうです。しかし、こんな札幌ですが、実は一足先に春が到来しているところがあるのです。

3月25日に開幕したプロ野球パ・リーグ。われらが道民球団、北海道日本ハムファイターズは、北海道移転以降初めて開幕戦を本拠地「札幌ドーム」で向かえました。そうです、“球春”がすでに到来していたのです。先に開幕していたJリーグでも、コンサドーレ札幌の本拠地としてすでに試合が行われており、札幌ドームはまさに全天候型のドーム施設として私たちを本当に楽しませてくれています。札幌ドームは、野球やサッカー、コンサートなどイベント会場としては皆さんもすでにご承知のことと思いますが、今回は、札幌ドームの“裏”の楽しみ方についてご紹介します。



まだ周りに雪の残る札幌ドーム

まず、最初にご紹介するのが「ドームツアー」です。

このドームツアーは10時～16時までの毎時00分にスタートします。(イベントのスケジュールによって異なる場合がありますので、必ず事前にご確認してください)

まずは、ツアーアテンダントの案内にしたがって、スタンドに上がります。全体を見渡し、東京ドームが1個丸ごと入ってしまうというその大きさを感じながら、歴史や施設、そして最大の特徴である「ホヴァリングサッカーステージ」についての説明を聞きます。これは、サッカー(天然芝)と野球(人工芝)の両方の開催を可能にした世界初のシステムで、サッカー開催の場合にはサッカーグラウンドが屋外から屋内に、野球開催の場合にはその逆に動くというものです。その名のとおり空気の色を使って動かすのですが、運がよければ、このツアー中に実際にその様子を見ることができます。



アリーナを眺めながらいろいろな説明を聞きます。

次にグラウンドまで足を運びます。実際にグラウンドの感触を確かめたり、ベンチに座って憧れの選手と同じ気分を味わったりすることができます。さらには、選手が実際に使うブルペンや監督・コーチ室、ロッカールーム、ラウンジ、そしてシャワールームまでも見学することができます。ブルペンでは投球練習もできて、ロッカールームやラウンジでの試合前の談笑(?)も楽しめます。床についた無数のスパイクの傷跡を感じて、好きな選手を思い浮かべながら見学すると、とっても幸せな気分になります。

アリーナが野球仕様の場合とサッカー仕様の場合では、見学できるところが微妙に違うので、それぞれで2回行くことをおすすめします。



グラウンドレベルでの見学(この日はサッカー仕様で、芝を整備していました)



ブルペン、マウンドに向かう緊張感が伝わります。



実際に選手が使っているロッカールーム

これらをぐるっと回って、所要時間は約50分。ツアーアテンダントの丁寧な説明、そしてそれを聞いて思い浮かべるいろんな想像力もあって、時間は本当にあっという間に過ぎてしまいます。

続いて、札幌ドームのもう一つの大きな魅力である「展望台」をご紹介します。

営業時間は10時～18時。(こちらイベントのスケジュールによって異なる場合がありますので、必ず事前にご確認してください)

全長60メートルの空中エスカレーターで展望台に上ります。このエスカレーターは下からの支えがなく、上からつるされている仕組みになっていて、青い光が幻想的な世界を作り出し、まさに空中散歩をしているような感覚です。展望台に上ると、53メートルの高さからアリーナの全景も見下ろすことができ、そして、札幌市街と羊ヶ丘の田園風景を同時に楽しめる壮大なパノラマが広がります。夜はもちろんロマンチックな夜景も楽しめます。



青い光が幻想的な空中エスカレーター ドームから突き出している展望台

そして、札幌ドームの全く新しい魅力として、3月31日に完成したばかりのメモリアルコーナーをご紹介します。

ここでは、札幌ドーム開業からこれまで5年間の歴史が詰まった、さまざまな記念品が展示されています。

中日ドラゴンズ福留選手が放った初ホームランボールやサッカー日本代表柳沢選手の初ゴールのボール、コンサートを開催したアーティストの記念サイン色紙などが展示されています。なかでも非常に貴重なお宝グッズとして、2002年に開催されたサッカーワールドカップで最も印象的な試合の一つであったイングランド対アルゼンチン戦で、イングランド代表チームが実際に使用した作戦ボード(そのままの状態でも保存されていてベッカム選手など名前が実際に書かれています)、そしてさらには北海道日本ハムファイターズの新庄選手が実際に着用したかぶりものまで展示されています。こんなに貴重なものが展示されているにもかかわらず、無料で楽しめてしまうという、本当にお得でファンにはたまらないコーナーです。札幌ドームの新名所「メモリアルコーナー」、まさに必見です。



お宝グッズがいっぱい！！



新庄選手のアレ！です。

このほかにも、スポーツレストランやカフェ、グッズショップ、そして国内外のアーティストの芸術作品が展示されたアートグローブなど、札幌ドームにはさまざまな魅力がたくさん散りばめられています。イベントはもちろん、それ以外でも存分に楽しめる札幌ドームにぜひ一度足を運んでみてください。

札幌ドームについての詳しい情報はこちら

<http://www.sapporo-dome.co.jp/>

2 さっぽろスイーツ2006誕生！

この「もぎたてさっぽろ」でも以前から何回か取り上げているさっぽろスイーツ。その「さっぽろスイーツ2006」を決めるコンペティションが先月行われ(主催:スイーツ王国さっぽろ推進協議会)、応募総数78点の作品の中から、札幌プリンスホテルのパティシエが考案した「さっぽろ・いちごタルト」がグランプリに選ばれました。このコンペティションの大きな特長としてグランプリ作品のレシピが公開され、□さっぽろ・いちごタルトという名称にする□上部に白いクリームを載せる□いちごは必ず道産いちごを使う□土台を丸型の焼き菓子にする、などを条件としてそのほかの部分は各店でアレンジを加え、独自のいちごタルトを作ることができます。このいちごタルトが4月1日から札幌市内及び近郊約50店舗で一斉に販売を開始しました。

今回取材班はさっそく各店の「さっぽろ・いちごタルト」を食べてみました。
まずは今回グランプリを受賞した札幌プリンスホテルのいちごタルトを食べてみました。



上に乗っている白いクリームは一見ただの生クリームのように見えますが、実はギモーブ(マシュマロ)の手法を用いており、普通のクリームに比べてもっちりとした食感になっています。中はフランボアーズの甘酸っぱいギモーブが入っています。土台のタルトは、アレルギーが方でも食べられるようにとの配慮から小麦粉と卵を使わないタルトになっており、穀物の味がしっかりしました。タルト、2種類のギモーブ、イチゴの味のバランスが絶妙でした。

この取り組みの大きな特長は各店でのアレンジなので、もう1軒訪れてみました。



この店のいちごタルトはこんな感じです。外観的にはクリーム飾り方が異なっているもののあまり変わりないと感じられるかもしれませんが、味ははっきりと違います。こちらは、土台にアーモンドが入っており先ほどよりも柔らかいタルトになっています。また、中に入っているクリームはフランボアーズではなくイチゴとマスカルポーネチーズが使われているため全体的にマイルドな感じがしました。

今回は2軒の店を取材していましたが、全体的に甘さが控えられているため、そんなに甘いものが得意な方でなくても2個くらい簡単に食べられてしまいます。「どっちがおいしかった?」「今度はどの店に行ってみる?」あなたも札幌に来てそんなふうにご飯を食べ比べてしてみませんか?

3 ようこそさっぽろ4月の特集



「ようこそさっぽろ」

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/>

携帯版「さっぽろフットナビ！」

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/fnv/>



ウメとサクラが競演する札幌の花見はゴールデンウィーク後半が見ごろ。新たな旅行スタイルとして、レンタカーに折りたたみレンタサイクルを積んで郊外のサイクリングロードを走るのはいかがでしょう。

<4月の特集>

- 5月の札幌 札幌は黄金週間にサクラです
- サクラの楽しみ方(花見をしながらジンギスカン)
- 札幌には自転車がよく似合う
- タクシーで回る札幌(市内観光3時間コース)
- 札幌でロングステイ など

4～6月の主なイベント

- 第48回ライラックまつり(5/19～21)
<http://www.sweb.co.jp/kanko/lilac/>
- 第15回YOSAKOIソーラン祭り(6/7～11)
<http://www.yosanet.com/yosakoi/index.html>

18年度イベントスケジュールの詳細はこちら

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/event/H18event-calendar.html>

○編集後記○

「もぎたてさっぽろ」いかがでしたか？今回ご紹介したさっぽろスイーツですが、このコンペティションは今後も毎年開催していき、毎年新しいスイーツを開発していく予定です。札幌といえばスイーツと言われるような街にしていくための取り組みを今後も続けていきますので「さっぽろスイーツ」をよろしく願います。

最後までお読みいただきありがとうございました。ご意見・ご質問はこちらまで kanko@city.sapporo.jp

次号は5月12日発行予定です。

札幌市観光文化局観光部観光企画課
Tel011-211-2376 Fax011-218-5129
E-mail kanko@city.sapporo.jp